

燧灘貧酸素情報（第 4 号）

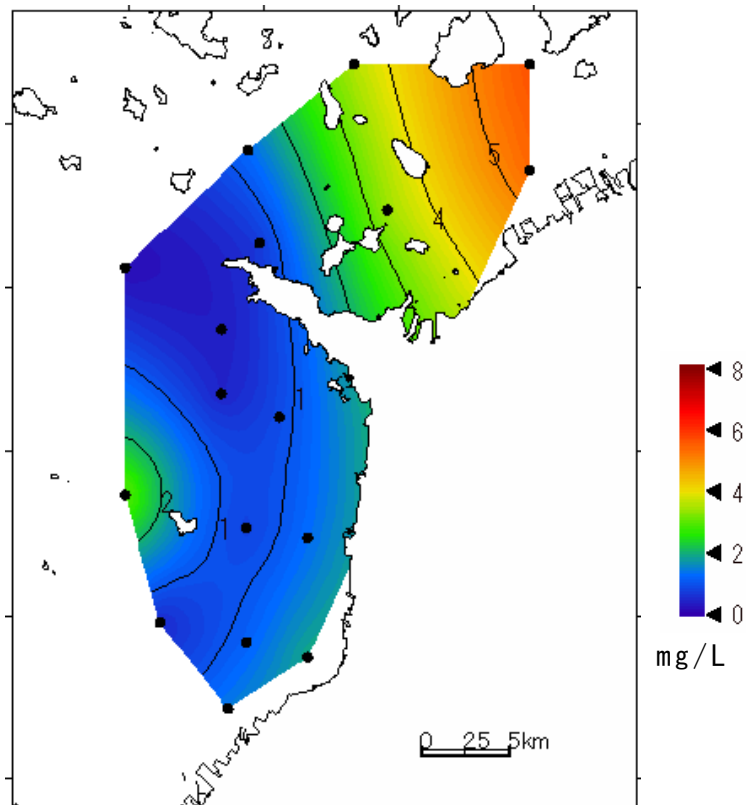
香川県水産試験場

9月1日観測結果

9月1日現在、底層の溶存酸素濃度が広範囲に低下し、備讃瀬戸西部の一部でも低下しています。多くの点で1を下回っています。今後、残暑が続くとさらに貧酸素化が進行する可能性があるため、動向に注意する必要があります。

次回の調査は9月中旬を予定しています。

調査名：浅海定線調査
測定方法：ウインクラージャ
化ナトリウム変法



底層の溶存酸素濃度

溶存酸素濃度（DO）の目安*

溶存酸素濃度	生物への影響
4.3mg/L 以下	魚類・甲殻類・底生生物（ベントス）に影響
3.6mg/L 以下	貝類に影響，甲殻類の生存困難
2.9mg/L 以下	底生生物（ベントス）の生存困難
2.2mg/L 以下	底生魚類の生存困難

* 漁場環境容量策定事業報告書（水産資源保護協会 1989）を参考にしています。